

6 快適で利便性に富んだまち

総合基本計画関連ページ

第5章施策の体系

6 快適で利便性に富んだまち 232ページ

附属資料

1 基本計画（第5章）施策の体系 政策指標における現状値 284ページ

基本施策6-① 公共交通網の充実

46 A バス年間乗客数を増やします

Aバス乗降客数 97,646人（令和2年度時点）

【評価対象事業】

87交通機関対策等事業 交通対策課

47 自転車等駐車場の利用率を高めま

各月平均自転車等駐車場利用率 32.0%（令和2年度時点）

【評価対象事業】

88自転車等駐車場管理事務 交通対策課

48東京都シルバーバスの保有者数を増やします

東京都シルバーバスの保有者数 5,895人（令和2年9月時点）対象外

基本施策6-② 道路環境の整備

49事業化された都市計画道路の整備を着実に進めます

都市計画道路3・4・1号末整備率 64%（令和2年度末時点）

【評価対象事業】

89都市計画道路3・4・1号第1期整備事業 建設課

50歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくりま

歩道の延長距離 総延長79,763m（令和2年度末時点）

歩道の総面積 226,847㎡（令和2年度末時点）

【評価対象事業】

90道路維持管理事務 管理課

91市道舗装改修等事業 建設課

92管内道路整備事業 管理課

51交差点付近の植樹帯・街路樹を整備し、視界を確保します

1箇所（延長16.5m、幅1.25m、面積23.10㎡）（令和2年度時点）

【評価対象事業】

90道路維持管理事務 管理課

92管内道路整備事業 管理課

基本施策6-③ 深層地下水100%水道水の供給

52直接飲用率を高めま

水道水をそのまま飲む市民の割合 72.1%（令和元年時点） 評価対象外

53管路の耐震適合率を高めま

管路の耐震適合率 56.8%（令和2年度末時点） 評価対象外

基本施策6-④ 下水道の維持管理

54公共下水道雨水管の重点整備を推進しま

公共下水道雨水管の整備率 46.4%（令和2年度末時点） 評価対象外

54下水道施設老朽化対策を推進しま

下水道施設老朽化対策の整備率 6%（令和2年度末時点） 評価対象外

基本施策6-⑤ 市街地の整備

55まちなみや景観を美しいと思う市民の割合を増やしま

昭島のまちなみや景観を「美しいと思う」「やや美しいと思う」市民の割合 57.9%（令和元年時点）

【評価対象事業】

93都市計画審議会事務 都市計画課

94都市計画推進事業 都市計画課

56住み続けたいと思う市民の割合を増やします（再掲）
昭島市に「今後とも住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と思う市民の割合 81.8%（令和元年時点）

【評価対象事業】

93都市計画審議会事務 都市計画課

基本施策6-⑥ 快適な公園の確保

57市民一人当たりの公園面積を増やします
市民一人当たりの公園面積 10.84㎡（令和2年時点）

【評価対象事業】

95公園維持管理事務 管理課
96児童遊園維持管理事務 管理課

基本施策6-⑦ 住環境の保全

58市民の健康で快適な生活を守るため、大気環境、水環境、音環境などについての環境基準を全て達成します

環境基準 大気環境：達成（令和2年度時点）
水環境：達成（令和2年度時点）



【評価対象事業】

97公害調査・測定等事務 環境課
環境基準 準環境：達成（令和2年度時点）


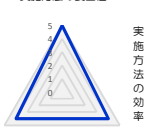
【評価対象事業】

98航空機騒音調査事務 環境課


令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		交通機関対策等事業									事業開廃年度		-			
基本データ	予算科目	款	02	項	01	目	01	細目	009	細々目	01	部	都市整備部	課長	和田 規宏	
	款名	総務費											課	交通対策課	担当	光畑 辰弘
	総合基本計画の体系	6快速で便性に富んだまち 6-① 公共交通網の充実 Aバス年間乗客数を増やします											個別計画		電話	内線2504
	根拠法令等												法令による事業実施義務	<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを														
事業の概要	事業概要	対象				目的										
	実施内容	鉄道、バス等公共交通機関				公共交通手段の維持・確保、利便性の向上。交通不便地域解消										
事業の実績	事業費（コスト）の推移		（単位）	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>								
	直接事業費		千円	88,487	80,647	81,722	85,865									
	財源内訳	国庫支出金	千円	9,600		4,000										
		都支出金	千円													
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円			701										
	一般職員人件費		千円	4,110	4,090	4,090	2,484									
	人工数		人	0.50	0.50	0.50	0.30									
	再任用職員人件費		千円	2,310	2,300	2,300	1,389									
	人工数		人	0.50	0.50	0.50	0.30									
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円													
	人工数		人													
	総事業費		千円	92,597	84,737	85,812	88,349									
	基本施策の現状値						（時点）		R4実績	R5実績	R6実績					
	Aバス乗降客数 97,646人						令和2年度		131,343人							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	各協議会における会議は定期的で開催され、鉄道事業者等への要請活動についても継続的に実施されている。コミュニティバスの運行については運行補助予算額の範囲内にて運行を維持した。												
	実施方法の効率性		3	Aバスの運行経費は、コスト、サービス量ともに横ばいである。前年度比6,766千円の減となった。												
	達成度（基本施策の実績）		4	令和4年度の利用者数は131,343人で、前年の117,091人と比較すると12%の増加となっているので、目標値は達成している。												
	DXへの取組		取り組みを推進中			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし								
	個別評価	合計点	今後の方向性		（前年度 — ）→ E		現状を維持									
		総合評価		Aバスの年間乗客数は前年と比較した場合14,252人（12%）の増加となっている。総合基本計画での令和2年の目標値である97,646人に対し、令和4年度実績は131,343人と目標値を達している。また、Aバス（CNG車）車両の故障が多く、令和9年度には昭島ガスのエコステーションが廃止予定のためCNG車2台を市民の利便性向上及び環境負荷の低減を目的としてEVバス及び充電設備導入が今後の課題となっている												



令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		自転車等駐車場管理事務								事業開廃年度		-			
												継続			
基本データ	予算科目	款	02	項	01	目	13	細目	001	細々目	01	部	都市整備部	課長	和田 規宏
		款名	総務費								課	交通対策課	担当	光畑 辰弘	
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-① 公共交通網の充実 自転車等駐車場の利用率を高めます								個別計画		電話	内線2504		
	根拠法令等	自転車法、昭島市自転車等の放置防止等に関する条例、昭島市自転車等駐車場条例								法令による事業実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)				
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	市民及び駅周辺への乗り入れ自転車駅周辺を中心とした公共の道路及び自転車駐車場 駅周辺を中心とする道路通行上の支障物（放置自転車等）をなくし交通の安全と防災活動等を確保する。また、自転車等駐車場を適正円滑に管理する。 駅周辺の放置自転車等をなくすために設置された自転車等駐車場の適正円滑な管理。 ①指定管理者による管理運営 ②直営事務（施設修繕、土地借賃貸借事務、使用料収納事務、使用料の還付事務、使用料免除事務） 施設数18箇所、収容総数台11,774台													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円	148,090	141,436	140,849	148,953	【その他特定財源】 ・行政財産使用料 ・自転車等駐車場使用料							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	7,600											
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	93,793	100,689	98,250	110,113								
	一般財源	千円	46,697	40,747	42,599	38,840									
	一般職員人件費		千円	8,220	8,180	8,180	8,280								
	人工数		人	1.00	1.00	1.00	1.00								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	156,310	149,616	149,029	157,233								
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
各月平均自転車等駐車場利用率 32.0%						令和2年度	59.80%								
実施方法の妥当性		5	指定管理者と協議し、人員配置や再委託業務の見直しを図るなど実施方法を前年度と変更することで経費の削減と利用者サービスの向上に努めた。												
実施方法の効率性		4	昭島駅北口第二の大規模な樹木せん定などサービス量は増加したため、総事業費は前年と比較し7,241千円の増となった。												
達成度（基本施策の実績）		4	令和2年の各月平均自転車等駐車場利用率の目標値である32%に対し、令和4年度実績は59.8%と目標値を達している。												
DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性	該当事務なし								
個別評価	合計点	今後の方向性		(前年度 —) → E		現状を維持									
13			 総合評価 市営の自転車等駐車場よりも駅の近くに民間の時間貸し駐輪場が10箇所オープンしたため市営駐輪場の利用者が民間施設へ移行し利用者が減少している。また、東中神駅北口及び西側の利用状況が常時飽和状態であり利用できない方からの既存施設の拡幅等の要望が多くなっている。												



令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		都市計画道路3・4・1号第1期整備事業									事業開廃年度		平成6年度 継続		
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	04	細目	002	細々目	01	部	都市整備部	課長	田中 秀毅
		款名	土木費									課	建設課	担当	萩原 宏也
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-2 道路環境の整備 事業化された都市計画道路の整備を着実に進めます									係		都市計画道路担当	電話	内線2523
	根拠法令等	都市計画法第59条									個別計画				
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	都市計画道路3・4・1号				都市計画道路の整備により国道、都道などの緊急輸送道路との連携及び市役所周辺を含めた道路ネットワークの向上と、無電柱化路線とすることで、災害時の避難路や救援路の確保を行う									
		事業認可を受けた路線延長1,274mの内、開通済みは813m、整備率は64%である。 未整備区間は鉄道の立体交差工事を含む461mを令和12年度末の開通を目標に事業を進めている。 令和4年度は未整備区間において電線共同溝の整備243.4m及び鉄道事業者との協定工事の締結を行った。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円	146,909	107,600	76,416	582,600	その他特定財源 ・都市計画道路3・4・1号整備事業負担金 ・公共施設整備等資金 積立基金繰入金 ・繰越金（繰越明許）							
	財源内訳	国庫支出金	千円	8,000	12,500	12,500									
		都支出金	千円	4,000	6,250	6,250									
		地方債	千円	33,000		21,000	487,000								
		その他特定財源	千円	93,321	37,000	289	37,000								
		一般財源	千円	8,588	51,850	36,377	58,600								
	一般職員人件費		千円	12,330	12,270	12,270	12,420								
	人工数		人	1.50	1.50	1.50	1.50								
	再任用職員人件費		千円	0	0		0								
	人工数		人	0.00	0.00		0.00								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円	0	0		0								
	人工数		人	0.00	0.00		0.00								
	総事業費		千円	159,239	119,870	88,686	595,020								
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
都市計画道路3・4・1号整備率 64%						令和2年度末	64%								
事業の評価	実施方法の妥当性		3	鉄道の立体交差化は、鉄道事業者と施工協定を締結し協定工事として施工を進める。それ以外は市の発注により計画的に事業を推進している。											
	実施方法の効率性		4	各年度の工事内容が違うため、前年度の工事費との比較が難しい。よってコストは変化なし、サービス量（成果）は事業の進捗があったので増加と判断した。											
	達成度（基本施策の実績）		3	達成度（整備率）は「開通済み区間」としているため、部分的に事業を進めている状態であるが、開通延長に変化がないため、達成度の変化は無しとした。											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点	今後の方向性		(前年度 —) → E 現状を維持										
総合評価		令和12年度末の開通に向けて事業を進めている状況である。 令和5年からは立体交差部の施工が始まり計画的に事業進捗中である。 今後、資材の価格高騰・調達不良の懸念事項はあるものの、市中央を通る重要な都市計画道路の整備として早期開通を目指し事業を行っていく。													



令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		道路維持管理事務								事業開廃年度		-			
												継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	02	細目	001	細々目	01	部	都市整備部	課長	池和田 功
		款名	土木費									課	管理課	担当	原島 大輔
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-2 道路環境の整備										係	維持係	電話	541-2222
		歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります										個別計画			
	根拠法令等											法令による事業実施義務	<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを														
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	昭島市が管理する1,270路線、228キロメートルの道路				道路の良好な状態を常時確保し、交通安全、事故防止、また、良好で快適な生活環境の実現を図る。									
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円	113,926	124,505	121,764	134,440	【その他特定財源】							
	財源内訳	国庫支出金	千円					・道路使用料							
		都支出金	千円			485		・拝島駅自由通路維持管理費負担金							
		地方債	千円					・公共施設整備等資金							
		その他特定財源	千円	77,939	112,912	78,137	112,708	積立基金繰入金							
		一般財源	千円	35,987	11,593	43,142	21,732								
	一般職員人件費		千円	32,880	16,360	16,360	16,560								
		人工数	人	4.00	2.00	2.00	2.00								
	再任用職員人件費		千円	9,240	13,800	13,800	17,594								
		人工数	人	2.00	3.00	3.00	3.80								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円	0	0	0	0								
		人工数	人	0.00	0.00	0.00	0.00								
	総事業費		千円	146,806	140,865	138,124	151,000								
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
歩道の延長距離 総延長79,763m						令和2年度	80,022m								
歩道の総面積 226,847㎡						令和2年度	227,571㎡								
交差点付近の植樹帯・街路樹を整備し、視界を確保します 1箇所（延長16.5m、幅1.25m、面積23.10㎡）						令和2年度末	2箇所 5.1㎡								
事業の評価	実施方法の妥当性		3	定期的なパトロールによる早期発見早期対応がベストだが、日々の作業に時間を取られているのが現状である。											
	実施方法の効率性		3	直営作業及び委託を組み合わせることで効率的な対応を心掛けている。											
	達成度（基本施策の実績）		4	道路維持補修及び道路清掃、街路樹せん定、除草委託等限られた予算の中で効率よく行っており、円滑な業務の遂行がおおむねできているが、市民要望はそれを上回っている。											
	DXへの取組		予定なし	AI・RPA導入の可能性		該当事務なし									
	個別評価	合計点	10	今後の方向性	(前年度	—) →	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し							
 達成度（基本施策の実績） 実施方法の効率性		総合評価		道路補修及び道路清掃など毎年予算がほぼ同額のため、苦情の対応に苦慮している。また、市道路線によるスピーディーな刈込や除草依頼も多く、委託対応以外の除草箇所が増え苦情も多い。											


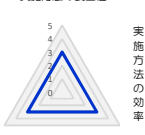
令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		市道舗装改修等事業費								事業開廃年度		-			
												継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	03	細目	002	細々目	02	部	都市整備部	課長	田中 秀毅
		款名	土木費								課	建設	担当	高橋 規	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-2 道路環境の整備 歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります								個別計画		道路舗装個別施設計画			
	根拠法令等	道路法								法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input checked="" type="checkbox"/> 都補助等あり)			
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	昭島市道 計画的な市道舗装改修と合わせ、可能な限り車道と歩道の段差解消や勾配緩和、歩道舗装（透水性舗装）の整備、視覚障害者誘導ブロック設置等の検討など、人にやさしい道路づくりを目指す。 市道の道路改修工事を実施した。 昭島14号、21号、23号道路改修工事 車道舗装 4,044㎡、カラー舗装工 825㎡、歩道舗装 384㎡、視覚障害者誘導ブロック設置工 55㎡ また、傷んだ道路の状況調査や、橋りょうを改修するための設計委託などを実施している。 舗装構造解析等業務委託 3路線、橋梁改修工事設計委託 4橋													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円	80,615	170,860	139,007	169,000								
	財源内訳	国庫支出金	千円	3,299	3,300	2,310	6,160								
		都支出金	千円	24,249	99,480	98,714	144,420								
		地方債	千円	49,600											
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	3,467	68,080	37,983	18,420								
	一般職員人件費		千円	36,990	36,810	36,810	37,260								
		人工数	人	4.50	4.50	4.50	4.50								
	再任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	総事業費		千円	117,605	207,670	175,817	206,260								
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
歩道の延長距離 総延長79,763m						令和2年度	80,022m								
歩道の総面積 226,847㎡						令和2年度	227,571㎡								
事業の評価	実施方法の妥当性		3	発注時期の平準化を図りつつ、計画的な市道舗装改修に努め、一部歩道の透水性舗装や視覚障害者誘導ブロックの設置を実現した。											
	実施方法の効率性		3	工事内容が年度ごと、路線ごとで異なるため、比較が困難である。そのため、現状維持の横ばいとする。											
	達成度（基本施策の実績）		3	本事業は、現在開通している市道の改修工事であり、基本的に歩道の延長及び総面積の現状値に含まれているため、数値として表せない。											
	DXへの取組		予定なし			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点	今後の方向性		(前年度 —) → E 現状を維持										
		総合評価		計画的かつ継続的な市道舗装改修は、市民が安心して暮らせるまちづくりの一環として重要な事業である。令和4年度は、車道舗装と合わせて歩道の透水性舗装や視覚障害者誘導ブロックの設置を行った。今後は、橋梁改修工事も実施するため、計画的に事業を進めたい。											


令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		管内道路整備事業								事業開廃年度		-			
												継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	03	細目	003	細々目	01	部	都市整備部	課長	池和田 功
		款名	土木費								課	管理課	担当	小沢 岩夫	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-2 道路環境の整備 歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります								個別計画		電話	2505		
	根拠法令等	道路法								法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	市道				管内道路の整備により、市道の安全で円滑な通行を確保し、生活環境の向上を図る。									
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円	9,999	20,000	19,997	20,000	【その他特定財源】 ・公共施設整備等資金 積立基金繰入金							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	9,600		19,700	13,000								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円				5,000								
	一般職員人件費	千円	3,288	8,180	8,180	12,420									
	人工数	人	0.40	1.00	1.00	1.50									
	再任用職員人件費	千円	924	920	920	0									
	人工数	人	0.20	0.20	0.20	0.00									
	再任用代替会計年度任用職員人件費	千円	1,400	700	700	0									
	人工数	人	0.40	0.20	0.20	0.00									
	総事業費	千円	14,687	28,880	28,877	32,420									
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
	歩道の延長距離 総延長79,763m						令和2年度	80,022m							
歩道の総面積 226,847㎡						令和2年度	227,571㎡								
交差点付近の植樹帯・街路樹を整備し、視界を確保します 1箇所（延長16.5m、幅1.25m、面積23.10㎡）						令和2年度末	2箇所 5.1㎡								
事業の評価	実施方法の妥当性		3	補修を含め道路に関する要望は多く、内容は多岐にわたるため、工事内容、規模等に合わせ適切な対応が求められている。											
	実施方法の効率性		3	道路維持補修、管内道路補修工事、建設道路工事、と連動し、適宜対応している。											
	達成度（基本施策の実績）		3	道路補修への苦情や要望に対し、対応しているが、それを上回っているのが原状である。											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性	該当事務なし							
	個別評価	合計点	今後の方向性	(前年度 —) → C 抜本的な見直し											
 実施方法の妥当性 達成度（基本施策の実績） 実施方法の効率性		総合評価	道路補修に関する苦情や要望は多く、問題解消に向けて対処しているものの、減る傾向がない。費用面を軸に担当間の連系を蜜に、今までの経験等を生かしつつ、更なる効率化を図る必要がある。												



令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		都市計画審議会事務								事業開廃年度		昭和62年度			
												継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	01	細目	003	細々目	01	部	都市計画部	課長	塚本 政
		款名	土木費								課	都市計画課	担当	遠藤 あづ紗	
		総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-5 市街地の整備 まちなみや景観を美しいと思う市民の割合を増やします								個別計画		電話	内線2262	
		根拠法令等	都市計画法、昭島市都市計画審議会条例								法令による事業実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
		SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを												
事業の概要	事業概要	対象				目的									
		市の都市計画				都市計画行政の適正かつ円滑な運営を図る。									
	実施内容	都市計画法第77条の2第1項の規定に基づき設置された昭島市都市計画審議会の運営事務を行なう。審議会には市議会議員5名、学識経験者5名、関係行政機関職員3名及び市民2名の合計15名で構成され、都市計画に関する事項を調査・審議する。 令和4年度は2回の都市計画審議会を開催し、立川基地跡地昭島地区に関する都市計画変更や生産緑地地区の変更等の諮問7件について審議を行ない、答申された。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円	144	216	112	216								
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	144	216	112	216								
	一般職員人件費		千円	2,466	2,454	2,454	2,484								
	人工数		人	0.30	0.30	0.30	0.30								
	再任用職員人件費		千円	1,386	1,380	1,380									
	人工数		人	0.30	0.30	0.30									
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円				1,047								
	人工数		人				0.30								
	総事業費		千円	2,610	2,670	2,566	3,747								
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績				
昭島のまちなみや景観を「美しいと思う」「やや美しいと思う」市民の割合 57.9%							令和元年度	調査未実施							
住み続けたいと思う市民の割合を増やします 昭島市に「今後とも住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」と思う市民の割合 81.8%							令和元年度	調査未実施							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	法に基づく事務であり、妥当である。											
	実施方法の効率性		3	審議会の開催にあたっては、複数案件をまとめて開催することで、開催回数の削減により事業費の適正化を図っている。											
	達成度（基本施策の実績）		3	令和4年度において数値の捕捉を行っていない。											
	DXへの取組		検討中				AI・RPA導入の可能性		該当事務あり						
	個別評価	合計点	今後の方向性		(前年度 —) → E 現状を維持										
 達成度（基本施策の実績） 実施方法の効率性		総合評価		令和4年度は2回の都市計画審議会を開催し、円滑な運営を行なった。 引き続き適正な審議会の運営を行なう。											



令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		都市計画推進事業								事業開廃年度		令和4年度 新規			
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	01	細目	005	細々目	01	部	都市計画部	課長	塚本 政
		款名	土木費								課	都市計画課	担当	遠藤 あづ紗	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-5 市街地の整備								係		都市計画係	電話	内線2262	
	根拠法令等	住み続けたいと思う市民の割合を増やします（再掲）								個別計画					
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象 市民、事業者				目的 子どもや若い世代も含めた市民にまちづくりへの関心を持ってもらい、市民や事業者とともにまちづくりを推進する。									
	実施内容	市民参画によるワークショップや講演会、まちづくり懇談会等のイベントを開催する。令和4年度は12月に小学生親子を対象としたまちあるきクイズイベントを開催し、7組23名が参加した。まちづくりに対してより興味を持ってもらうため、東中神駅周辺を歩きながらまちづくりに関するクイズを出題し、正解者にはコインの配布と市キャラクターグッズのプレゼントを行なった。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円		100	0	56								
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円		100	0	56								
	一般職員人件費		千円		3,272	3,272	2,484								
	人工数		人		0.40	0.40	0.30								
	再任用職員人件費		千円		460	460	463								
	人工数		人		0.10	0.10	0.10								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円				349								
	人工数		人				0.10								
	総事業費		千円		3,372	3,272	2,889								
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
昭島市に「今後とも住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」と思う市民の割合 81.8%						令和元年度	調査未実施								
8-4「ふるさと昭島」として愛されるまちづくりの推進（再掲）															
事業の評価	実施方法の妥当性		3	子どもが参加しやすいイベントにし、親子で参加してもらうことで、幅広い層の市民のまちづくりへの興味や関心を高めることができるため、妥当である。											
	実施方法の効率性		4	職員が講師やファシリテーターとなって実施することで事業費を削減している。令和4年度は経費をかけずにイベントを実施することができた。											
	達成度（基本施策の実績）		3	令和4年度において数値の捕捉を行っていない。											
	DXへの取組		取り組み推進へ向け計画策定中				AI・RPA導入の可能性	導入に向け検討中							
	個別評価	合計点	今後の方向性		(前年度 —) → E		現状を維持								
総合評価		10		令和4年度は多くの小学生親子がまちあるきイベントに参加し、子どもや若い世代にまちづくりを身近に感じてもらう機会を設けられた。今後もより多くの方にまちづくりに対する興味を持ってもらうため、ワークショップや講演会を開催する。											


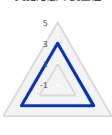
令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		公園維持管理事務								事業開廃年度		-				
												継続				
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	02	細目	001	細々目	01	部	都市整備部	課長	池和田 功	
		款名	土木費									課	管理課	担当	細谷 隆宏	
		総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-5 市街地の整備 市民一人当たりの公園面積を増やします									係		公園管理係	電話	内線 2179
		根拠法令等	都市公園法、昭島市都市公園条例、施行規則									法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
		SDG's17の目標	 13 気候変動に具体的な対策を													
事業の概要	事業概要	対象				目的										
	実施内容	42箇所の都市公園、その他宮沢広場及び拝島緑地広場				公園の施設等を良好に維持管理し、来園者に気持ちよく利用してもらう。 42箇所の都市公園、その他宮沢広場及び拝島緑地広場等の適切な維持管理を行う。主な業務は清掃、除草、樹木せん定、遊具等の公園施設の維持補修及び整備工事										
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>								
	直接事業費		千円	87,780	115,304	101,841	134,561	【その他特定財源】 ・公園（電柱電話柱等）使用料 ・行政財産使用料 基金繰入金 ・緑化推進基金繰入金 ・庁舎等光熱水費								
	財源内訳	国庫支出金	千円													
		都支出金	千円			3,799	16,295									
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円	30,158	112,912	25,902	23,773									
		一般財源	千円	57,622	2,392	72,140	94,493									
		一般職員人件費	千円	8,220	8,180	8,180	4,140									
		人工数	人	1.00	1.00	1.00	0.50									
		再任用職員人件費	千円		920	920	3,241									
		人工数	人		0.20	0.20	0.70									
		再任用代替会計年度任用職員人件費	千円	700												
		人工数	人	0.20												
		総事業費	千円	96,700	123,484	110,021	138,701									
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績						
市民一人当たりの公園面積 10.84㎡						令和2年度末	10.77㎡	10.75㎡								
実施方法の妥当性		3	現状維持という点では妥当であると思うが、さらなる維持管理の効率化について検討すべきである。													
実施方法の効率性		3	専門技術者による遊具の安全点検を実施した結果、市内の都市公園等に設置している遊具の安全性などの状況を把握することができた。													
達成度（基本施策の実績）		3	主な業務のうち、清掃、除草、樹木せん定、遊具等の公園施設の維持補修に関しては、予算が限られているため効率よく行っているが、市民要望はそれを上回っている。													
DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし								
個別評価	合計点	今後の方向性		(前年度		—) →		C		抜本的な見直し				
総合評価		 総合評価 公園施設の老朽化がひどく、7割以上が保障期間を過ぎており、市民要望に対して現状の体制では維持管理が追いついていない。 また、公園樹木についても植えられてから30~40年以上が経過し、台風等の災害時、倒木の恐れがあることから、計画的にせん定、伐採し植え替え等を行わなければならないが、対象樹木が多数あるため、追いついていない														


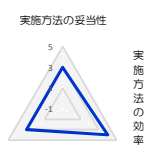
令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		児童遊園維持管理事務								事業開廃年度		-			
												継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	02	細目	002	細々目	01	部	都市整備部	課長	池和田 功
		款名	土木費								課	管理課	担当	細谷 隆宏	
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-5 市街地の整備 市民一人当たりの公園面積を増やします								係		公園管理係	電話	内線 2179	
	根拠法令等	児童福祉法、昭島市児童遊園条例								法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
	SDG's17の目標			13 気候変動に具体的な対策を											
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	市内49箇所の児童遊園				児童遊園の施設等を良好に維持管理し、来園者に気持ちよく利用してもらう。 49箇所の児童遊園の適切な維持管理。主な業務は、清掃、除草、樹木せん定及び遊具等の園内施設の維持補修。									
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円	12,255	45,752	40,543	36,356	【その他特定財源】 ・行政財産使用料 ・緑化推進基金繰入金							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円		13,000	12,038	11,140								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	100	1,038	500	839								
		一般財源	千円	12,155	31,714	28,005	24,377								
	一般職員人件費		千円	8,220	8,180	8,180	4,140								
		人工数	人	1.00	1.00	1.00	0.50								
	再任用職員人件費		千円		920	920	3,241								
		人工数	人		0.20	0.20	0.70								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円	700											
		人工数	人	0.20											
	総事業費		千円	21,175	53,932	48,723	40,496								
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
市民一人当たりの公園面積 10.84㎡						令和2年度末	10.77㎡	10.75㎡							
実施方法の妥当性		3	現状維持という点では妥当であると思うが、さらなる維持管理の効率化について検討すべきである。												
実施方法の効率性		4	専門技術者による遊具の安全点検を実施した結果、市内の児童遊園に設置している遊具の安全性などの状況を把握することができた。												
達成度（基本施策の実績）		3	主な業務のうち、清掃、除草、樹木剪定、遊具等の園内施設の維持補修に関しては、予算が限られているため効率よく行っているが、市民要望はそれを上回っている。												
DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性	該当事務なし								
事業の評価	個別評価	合計点	今後の方向性		(前年度 —) →		C 抜本的な見直し								
	10	総合評価		平成27年度より子育て支援課の担当業務が全て管理課の業務となった。児童遊園施設の老朽化が激しく、市民要望に対して現状の体制では維持管理が追いついていない。今後は都市公園等と一体的な維持管理も視野に入れ、さらなるコスト改善に向けた検討が必要である。											
															

令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		公害調査・測定等事務								事業開廃年度		-				
										環境全		継続				
基本データ	予算科目	款	04	項	01	目	05	細目	003	細々目	01	部	環境部	課長	井上 聡	
		款名	衛生費									課	環境課	担当	秋山 勲	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-7 住環境の保全										係		環境保全係	電話	2298
		市民の健康で快適な生活を守るため、大気環境、水環境、音環境などについての環境基準を全て達成します										個別計画				
	根拠法令等	環境基本法、環境確保条例（都）など										法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり） <input type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）		
SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを															
事業の概要	事業概要		対象				目的									
			騒音、振動、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、悪臭防止、地盤沈下、放射能				環境（公害）の調査・測定を実施することにより、公害等による被害の軽減と未然防止に努める。									
	実施内容		<ul style="list-style-type: none"> 交通騒音の調査：騒音が顕著とみられる10地点各1回で騒音測定（要請限度）を実施。その他環境省指定区間の6地点各1回で騒音測定を実施（常時監視）。 大気汚染調査：交通量の多い国道16号線小荷田交差点での一酸化炭素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質及び窒素酸化物の定期的な大気モニタリング調査を年2回実施。 水質分析：多摩川を3地点各6回、多摩川を除く公共用水域を7地点各2回調査を実施した。また、湧水のうち龍津寺、諏訪神社及び拝島大師の3地点各4回の調査を実施。この他に多摩川底生生物調査2地点各2回、多摩川魚類調査2地点各1回ずつ、工場排水調査を年4回実施。 													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>								
	直接事業費		千円	5,599	9,265	8,317	9,725	【その他特定財源】 ・工場設置・変更認可申請手数料 ・公文書開示手数料 ・複写機利用料 ・保険返戻金等								
	財源内訳	国庫支出金	千円													
		都支出金	千円	5,235	8,511	7,877	9,350									
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円	16	79	38	79									
		一般財源	千円	348	675	402	296									
		一般職員人件費	千円	23,838	23,722	23,722	24,012									
		人工数	人	2.90	2.90	2.90	2.90									
		再任用職員人件費	千円													
		人工数	人													
		再任用代替会計年度任用職員人件費	千円													
		人工数	人													
		総事業費	千円	29,437	32,987	32,039	33,737									
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
環境基準																
大気環境：達成							令和2年度	達成								
水環境：達成							令和2年度	達成								
事業の評価	実施方法の妥当性		3	公害の原因となる物質の継続的な測定により、公害の発生を予見し、未然に防止できている。												
	実施方法の効率性		3	令和3年度決算額5,599千円に対し、令和4年度決算額8,317千円で、48.5%の増だった。各調査の実施時期が重ならないよう、計画的・効率的に実施している。												
	達成度（基本施策の実績）		3	公害は、その発生が予見できにくいため、常に監視しておく必要がある。継続的に調査・測定することで公害の発生を予見し、未然に防止することこそが重要である。												
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点	今後の方向性		(前年度 —) → E 現状を維持											
	9															
 達成度（基本施策の実績） 実施方法の効率性		総合評価		生活環境の現状を把握するため大気測定、河川等の水質調査、交通騒音調査を定期的に実施することで、公害による市民・事業者への大きな影響は無かった。今後も継続して市民の生活環境を注視し、調査結果も踏まえ、必要に応じて適切な指導を実施する。												

令和5年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和4年度実施事業）

事務事業名		航空機騒音調査事務								事業開廃年度		昭和38年度 継続				
基本データ	予算科目	款	04	項	01	目	05	細目	003	細々目	01	部	環境部	課長	井上 聡	
		款名	衛生費									課	環境課	担当	秋山 勲	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-7 住環境の保全 <small>市民の健康で快適な生活を守るため、大気環境、水環境、音環境などについての環境基準を全て達成します</small>										係		環境保全係	電話	2298
	根拠法令等											個別計画				
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
事業の概要	事業概要	対象				目的										
	実施内容	横田基地を離発着する航空機による騒音				本市は、航空機騒音によって、市民生活や都市整備機能にさまざまな影響を受けており、これらの実態を把握するために実施する。										
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R3決算	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	備考<特財名称等>								
	直接事業費		千円	7,927	4,160	4,148	1,601									
	財源内訳	国庫支出金	千円	5,900												
		都支出金	千円													
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円													
		一般財源	千円	2,027	4,160	4,148	1,601									
	一般職員人件費		千円	4,110	4,090	4,090	4,140									
	人工数		人	0.50	0.50	0.50	0.50									
	再任用職員人件費		千円													
	人工数		人													
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円													
	人工数		人													
	総事業費		千円	12,037	8,250	8,238	5,741									
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
環境基準 準環境 : 達成							令和2年度	未達成								
実施方法の妥当性		3	現在の実施方法を継続することで、航空機騒音の推移が経年的に把握することができる。													
実施方法の効率性		4	令和3年度決算額7,927千円に対し、令和4年度決算額4,148千円で、47.7%の減だった。令和4度から新たに市民会館・公民館を固定調査（常設）箇所とし、市民交流センターを新たな移動調査箇所として追加するなど、限られた予算及び人員の中で効率的かつ効果的な運用に努めている。													
達成度（基本施策の実績）		3	市民生活や都市整備機能にさまざまな影響を受けている本市では、航空機騒音の測定及び収集や調査結果の公表は、重要であり、それを継続的に実施できているため達成度は高い。													
DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし								
個別評価	合計点	今後の方向性		(前年度 —) →		E		現状を維持								
総合評価		 達成度(基本施策の実績) 実施方法の効率性		航空機の飛行ルートの変更等を適切に把握するため、令和4年度に市民会館・公民館に固定調査用の騒音測定機を新たに整備した。令和5年度には、騒音集計処理システムの更新を行い、騒音測器等を定期的な更新を図るなど、継続的に安定した騒音測定が可能な状態にしている。今後も継続的に航空機騒音調査を実施し、生活環境の向上に取り組んでいく。												